

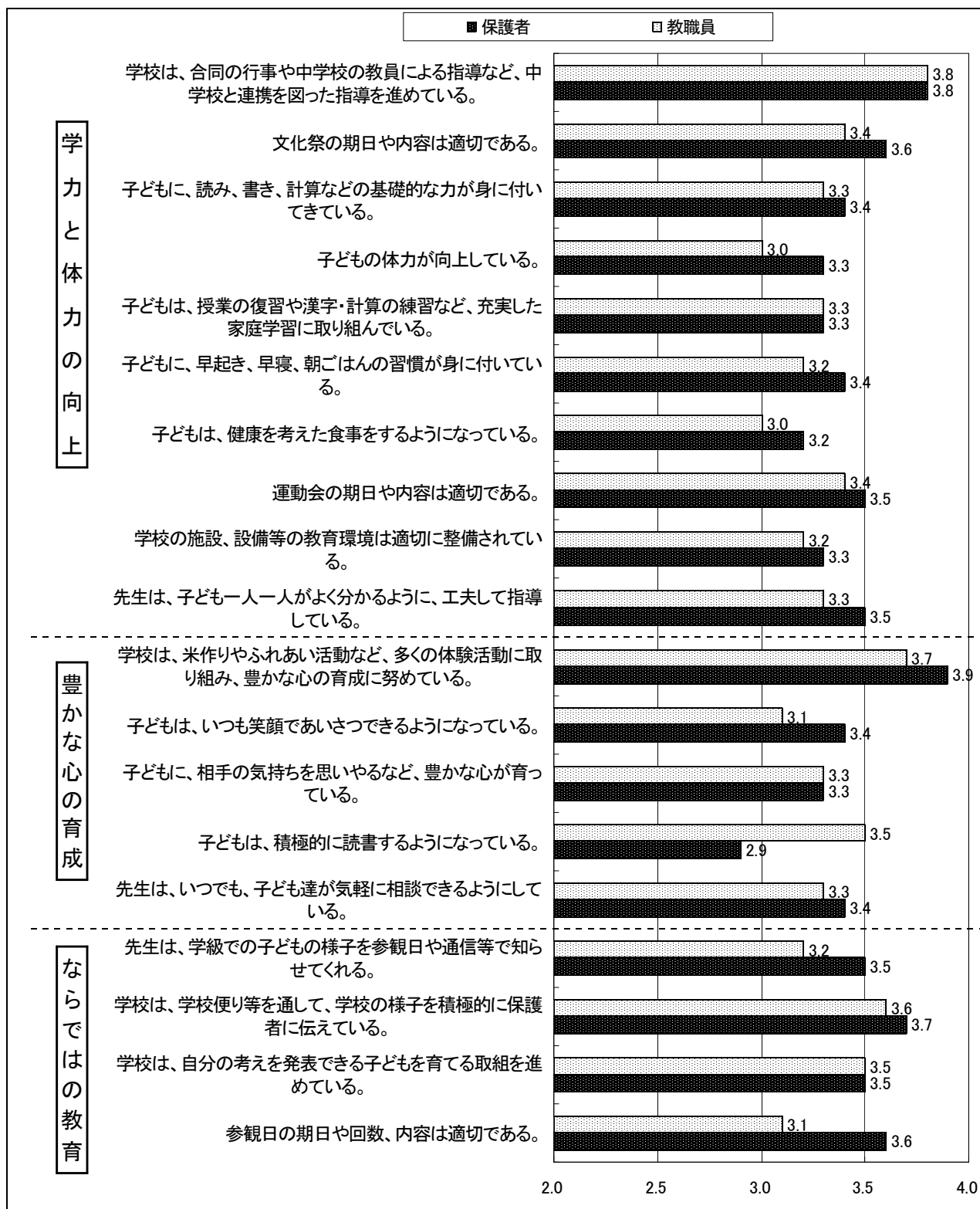
# 平成22年度 学校評価アンケート結果の考察と次年度の課題

西門川小学校

## 1 アンケート結果の処理

A そう思う(4点)、B どちらかといえばそう思う(3点)、C どちらかといえばそう思わない(2点)、D そう思わない(1点)として点数化し、平均点を算出して項目別にそれぞれと比較しました。

## 2 教職員と保護者のアンケート結果の比較



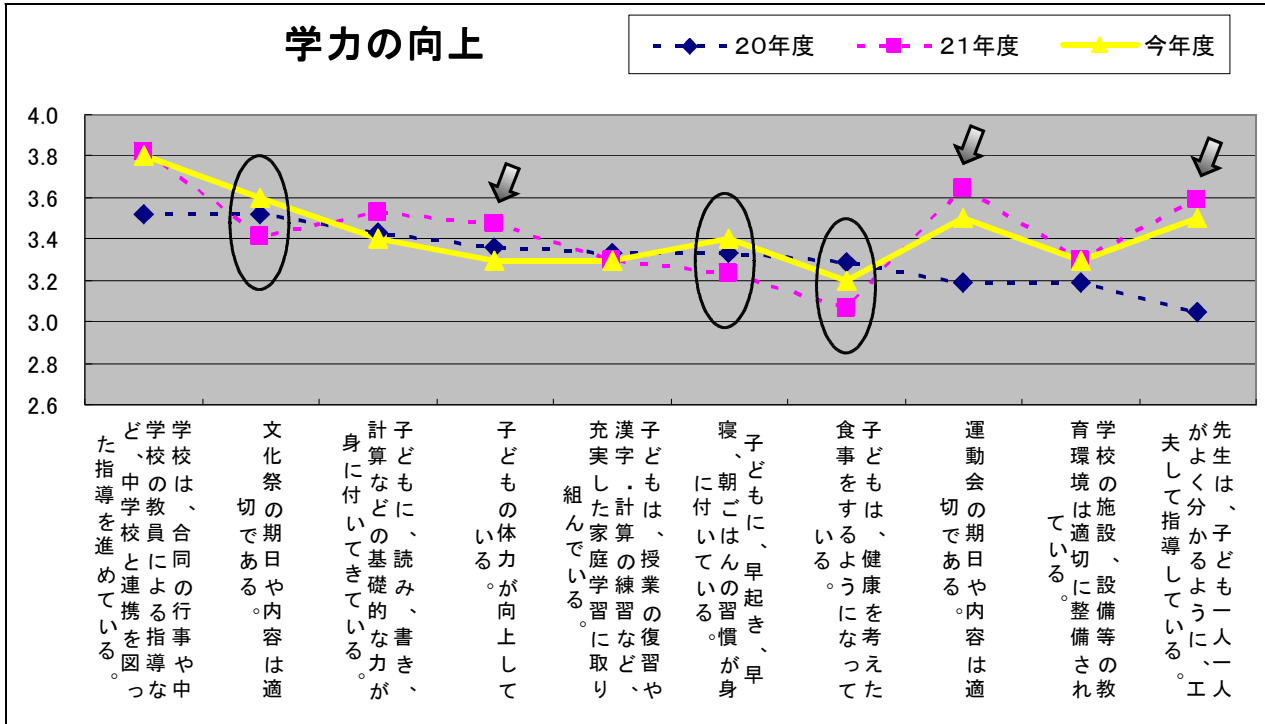
**【結果】**

評価の高かった項目	評価の低かった項目
○ 中学校との連携を図った指導	● 子どもの体力向上
○ 米作りやふれあい活動等の体験活動	● 健康を考えた食事
○ 学校便り等で情報公開	● 笑顔であいさつ
○ 自分の考えを発表できる子どもの育成	● 参観日の期日や回数、内容

**【分析】**

- 小・中学校の連携を図った取組については評価が高く、その傾向はここ数年続いています。取組が定着してきたとともに、充実した活動ができていることを保護者と教職員が認めている結果だと考えます。これは西門川小・中学校の特色で、他の学校では簡単にできることではありません。今後も効果的な連携を工夫しながら子どもたちの学力向上に努めていきます。
- 米作りやふれあい活動などの体験活動については、教職員も保護者も評価が高く、今後も地域との連携を継続していくことが重要であると感じています。  
 今後は活動だけに終わらず、道徳や特別活動などで学習したことや考えたことが生かせる場として、豊かな心の育成につながるよう体験活動とその前後の学習をうまくつなげていきたいと考えています。
- 豊かな心の育成へにつながる読書活動については、教職員の評価が保護者の評価をかなり上回りました。昨年度は、今年度と逆で、評価のポイント自体も今年度より低い結果でした。  
 個人差はあるものの児童の読書冊数は伸びてきており、教職員は読書活動が全体的には好ましい傾向にあると考えています。しかし、家庭における児童の読書や親子読書の状況やについてはまだ十分とは言えず、保護者の評価が低かったものと思われます。
- 「食に関する教育」については、今年度の課題として担任と栄養教諭による授業などを中心に取り組んできました。児童が知識として学んだことは多々ありましたが、食習慣等については短期間で習得できるものではありません。教職員の評価が他の項目と比べて低かったのは、現在の児童の状況と今後の取組の大切さを考えて、さらに課題が残されていると考えたものと思われます。
- 参観日に関する質問では、保護者に比べ教職員の評価がかなり低くなりました。これは参観日を実施した曜日にやや偏りがあったためと考えられます。次年度は、曜日も考えて計画を立てるように改善していきます。
- 上記以外の質問項目でも、保護者の評価よりも教職員の評価の方が低いものが多くありました。これは教職員が子どもたちに対しても自分たちの取組に対しても、さらによりよいものを目指そうという意識の現れだと考えています。次年度この意識が実際の形となって生きるよう努めていきます。

### 3 保護者からのアンケート結果と考察（回収率 91%）

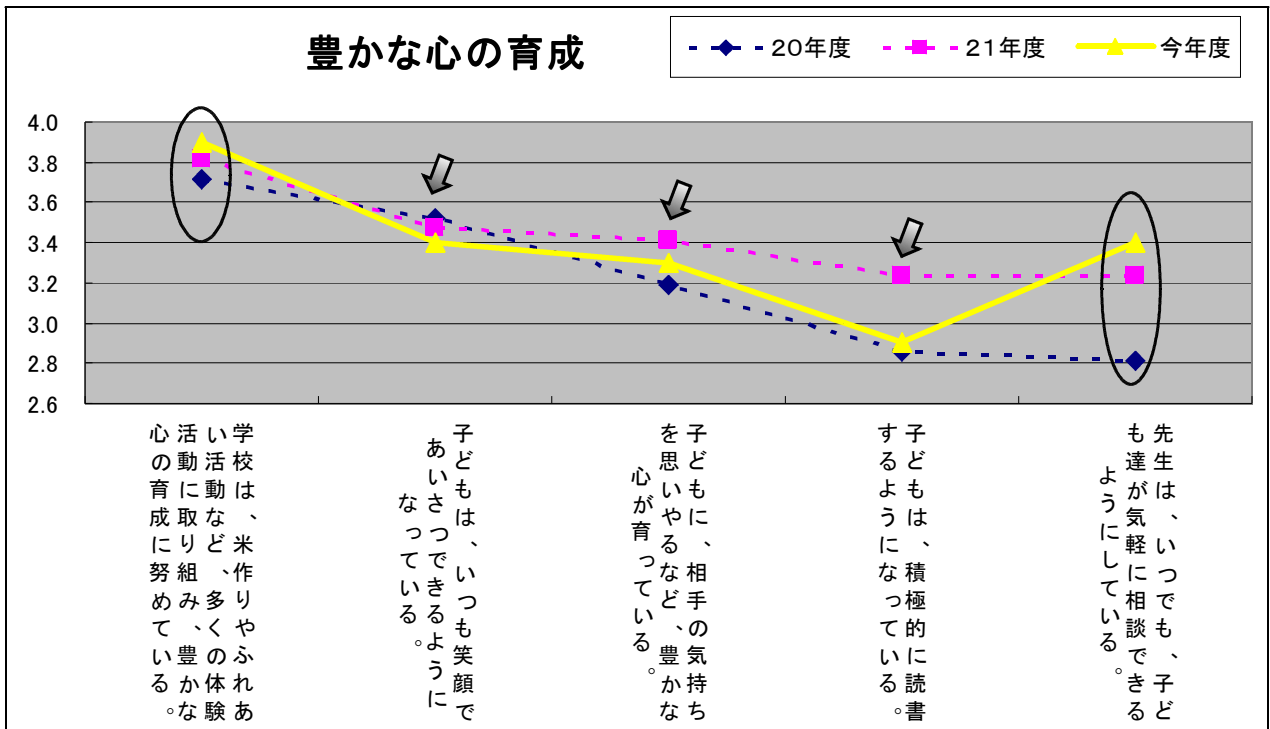


#### 【結果】

21年度より評価の上がった項目	21年度より評価の下がった項目
○ 文化祭の期日や内容	● 体力の向上
○ 早起き・早寝・朝ごはんの習慣	● 運動会の期日や内容
○ 健康を考えた食事	● 一人一人に分かる授業の工夫

#### 【考察】

- 昨年度課題だった3項目の評価は全て上がりました。本年度の取組の成果だと思います。しかし、健康な生活を送る上で大事な早起き・早寝・朝ごはんと健康を考えた食事についてはこれからも積極的に取り組んでいかなければならない課題です。小学校時代に身に付けた生活習慣は生涯を通じて大きく影響します。各家庭や栄養教諭との連携で取り組んでいきたいと思ひます。
- 体力の向上については、3年間で一番低い評価になりました。これまで、週1回業間の時間に運動の日として体力向上に取り組んできましたが、勤務時間の縮減により業間の時間の確保が難しくなっています。しかし、全校体育の時間を設けたり、チャレンジ体力アップとして中学生と合同体育を行い、低学年からの体力向上に努めています。これからも時間の確保と内容の充実に努力したいと思ひます。
- 運動会は中学校と合同で行うために、9月末の期日は変更できない状況です。他の日曜日には中学校部活動の試合や町民体育大会、保育園の運動会などが入っており、期日の決定も難しい状況がありました。熱中症対策をしっかりと立て、体力的に無理をさせないように取り組みます。
- 「先生は、子ども一人一人がよく分かるように工夫して指導している。」この項目の評価が学校にとって一番大事な評価だと考えています。4点満点の3.5点ではありますが、さらに工夫する必要があります。少人数指導の本校ですが、もっと細かく、一人一人に応じた指導を工夫するようにします。



**【結果】**

21年度より評価の上がった項目	21年度より評価の下がった項目
○ 豊かな心を育てる体験活動の実施	● 子どもの積極的な読書
○ 子どもが気軽に相談できる先生	● 笑顔であいさつ
	● 相手を思いやる豊かな心

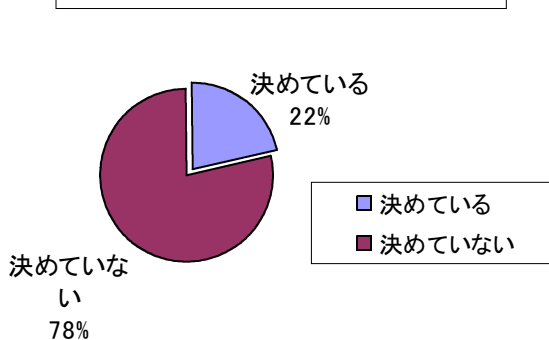
**【考察】**

- 今年度の体験活動の評価は4点満点の中の3.9点でした。地域の皆様がどんどん参加して下さるため、内容を一層充実することができました。また、ふれあい活動後に子どもたちはお礼状を書きました。自然や人々とのふれあいで情緒面が育ち、感動や感謝の気持ちなど豊かな心が育ちます。その感動を言葉で表現することを繰り返すことによってコミュニケーション能力も高まります。これからも地域との交流を大事にしていきたいと思ひます。
- あいさつ・返事については、次年度もスローガンとして徹底して指導してまいります。
- 今年度の読書に関する評価が下がったことは、とても残念です。子どもたちの読書貯金カードによると、昨年度よりもたくさん本を読んでいるという結果がでています。読書は楽しく知識を得たり、ものを考えたり、また、日本語の美しさやリズムにも触れることができます。保護者の皆様も子どもがもっと本好きになるように一緒に読書に取り組みましよう。

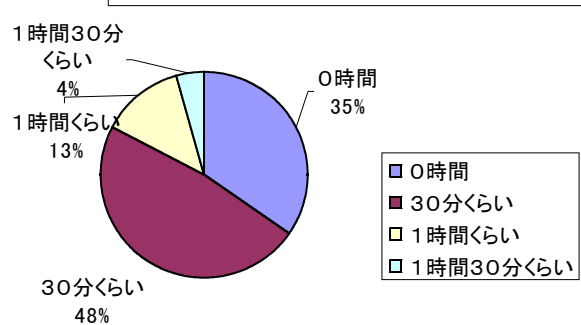
**<親子読書アンケート結果>**

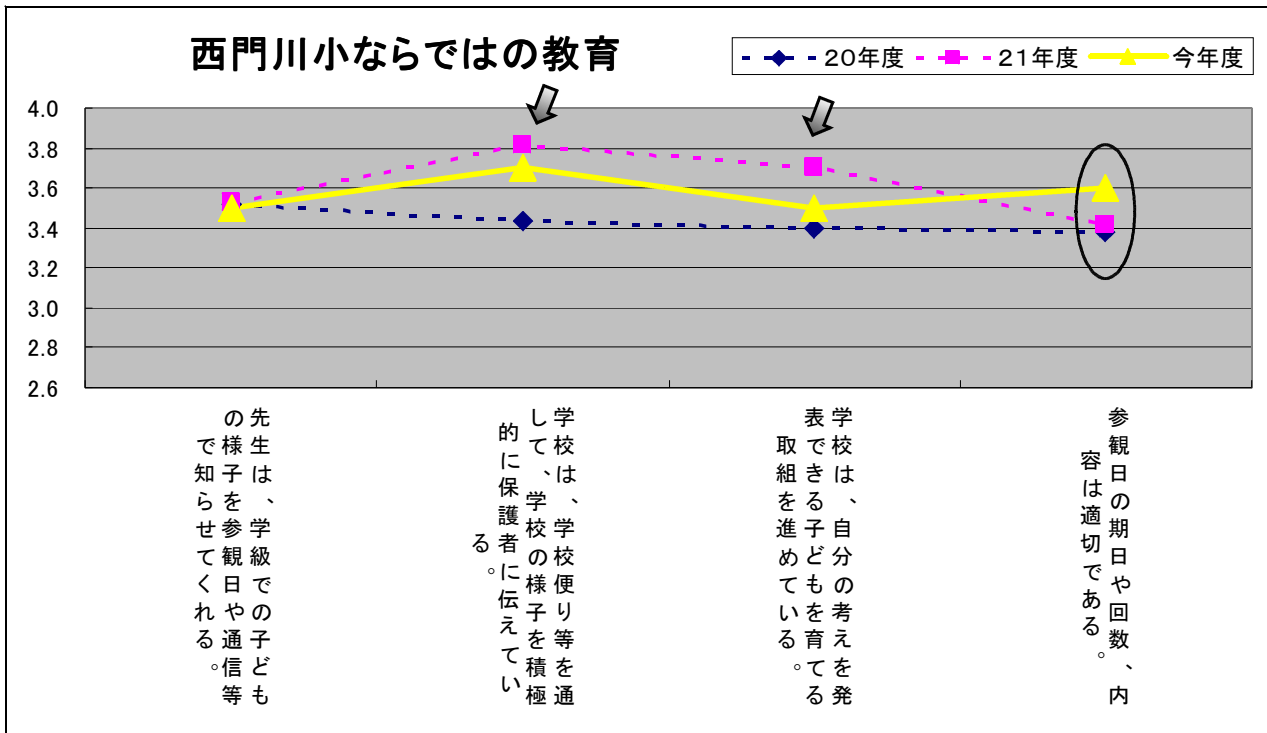
**H23.3.4実施**

1週間の中で読書の日を決めていますか



1週間の中で親子読書の時間はどのくらいですか





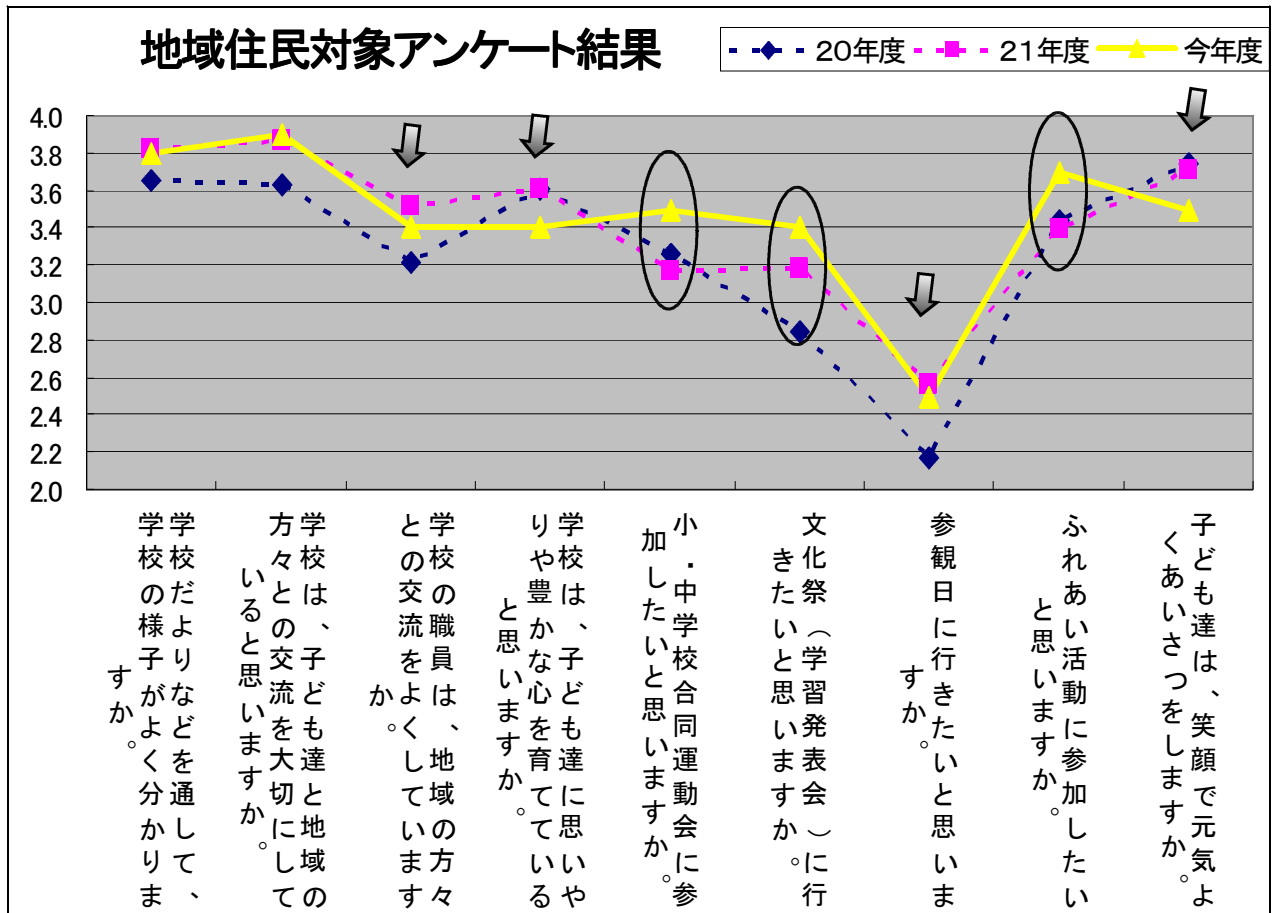
**【結果】**

21年度より評価の上がった項目	21年度より評価の下がった項目
○ 参観日の期日や回数、内容	● 自分の考えを公表できる子どもの育成
	● 学校の情報公開(学校便り・ホームページ等)

**【考察】**

- 参観日についてはおおむね良い評価をいただいておりますが、今年度の参観日は金曜日に多く設定されておりました。次年度は参観日の曜日が偏らないように工夫しています。
- 「自分の考えを公表できる子どもを育てる取組」については、本年度のスローガンに掲げています。月1回のかわちタイムでは短歌や俳句の発表をしたり、毎授業では自分の考えを書いて発表することを取り入れてきました。その成果として、短歌や俳句の作品応募では、門川町子ども俳句大会には5句が入選し、宮日学園歌壇・俳壇にはそれぞれ3首と6句が掲載されました。作品や発表の態度も非常に良くなっています。次年度もさらに、自分の考えを公表できる子どもの育成を目指します。
- 学校の様子や学級の様子を、次年度、もっと保護者の皆さんへお知らせしなければならないと思っています。

#### 4 地域住民からのアンケート結果と考察（回収率 16名分）



#### 【結果】

21年度より評価の上がった項目	21年度より評価の下がった項目
○ 運動会に参加したい	● 子どもに思いやりや豊かな心を育てている
○ ふれあい活動に参加したい	● 子どもたちは笑顔で元気よく挨拶をする
○ 文化祭(学習発表会)に行きたい	● 学校の職員は地域の方とよく交流している
	● 参観日に行きたい

#### 【考察】

- 今年度も地域の皆様にできるだけ多く学校に足を運んでいただくことを目標にしてきました。その結果、運動会・文化祭・ふれあい活動など3年間で一番良い評価をいただきました。
- 参観日についてはなかなか評価が上がりにません。次年度は、積極的にゲストティーチャーとして地域の方が参加する授業を取り入れていく必要があると思います。さらに、学校行事等の期日や内容を工夫して、参加しやすい学校にしていきたいと思います。
- 思いやりや豊かな心の育成や元気のよい挨拶・返事については、学校の重要課題です。これからも地域の皆様と力を合わせて取り組んでいきます。
- 学校の職員と地域の方との交流については、「西門川夏祭り」が口蹄疫のため中止になるなど交流の機会が減ったことも評価が下がる結果につながったと思います。これからも、地域の行事などに積極的に参加していきますのでよろしくお願いいたします。

## 5 まとめ（次年度の課題）

今年度の学校評価アンケートの結果は、昨年度よりも低い評価結果が出ました。しかし、今年度の課題として取り組んだ ① 一人一人の学力を伸ばす ② 地域との交流を工夫し、来校しやすい学校にする ③ 食育の指導を中心に生活習慣の確立をめざす という3点については、昨年度に比べると高い評価をしていただきましたので取組の成果が表れてきたのではないかと考えますが、全体的には十分とはいえません。

そこで、次年度は、全体的な底上げとともに、今年度の学校評価アンケートの結果から、学力、読書、食育の必要性を痛感しましたので、下記の3点を重点的な課題として取り組んでいきたいと考えています。

### 平成23年度の重要課題

- ① 一人一人の学力を伸ばす(知)
- ② 積極的に読書をする児童を育成する(徳)
- ③ 食育の指導を中心に生活習慣の確立をめざす(体)